



文久三年將軍御上洛二付宿並圖書上から見える 川崎宿の佇まい

文久3年(1863)、徳川家茂が將軍として、230年ぶりに孝明天皇に拝謁するため上洛することとなり、幕府は東海道筋に詳細な宿及び街道の諸事・施設の届けを出させ、整備をおこないました。
本講演会では、「森家文書」として保存されていた川崎宿関連史料を分析し、かつての宿場の佇まいを再現します。

令和
八年

3月28日(土)

14時開演(開場13時30分)

会場：東海道かわさき宿交流館 4階集会室

定員：当日先着100名(全自由席)

料金：無料

講師：菊地恒雄氏(川崎地名研究会会長、日本地名研究所事務局長)



【菊地恒雄 プロフィール】

1944年生。2004年教職を退いた後、地名研究を始める。
現在川崎地名研究会会長、日本地名研究所事務局長・研究員、
かわさき市民アカデミー・川崎学コーディネーター。
2024年『川崎の町名(改訂版)』の責任編集を行う。

第43回 街道シリーズ講演会

「琉球王国からの使者〜江戸上り〜(仮題)」

講師：上里隆史氏(琉球史研究家)

5月16日(土) 14:00開演 (開場13:30)

料金：無料(全席自由/当日先着100名)

※開催日程は予告なく変わる場合がございます。予めご了承ください。

JR 川崎駅 中央東口
北口東

徒歩約10分

/

京急川崎駅

徒歩約6分

〒210-0001 川崎市川崎区本町1-8-4 [TEL] 044-280-7321

東海道かわさき宿交流館

